

令和2年度 理科

教科	理科	科目	生物	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	改訂版 生物（数研出版）						
副教材等	ニューステージ新生物図表（浜島書店） ニューグローバル 生物基礎＋生物（東京書籍）						

1. 担当者からのメッセージ（学習方法等）

分子生物学を中心とした現代生命科学の成果は医療や農業などの分野でも応用され、私たちはその恩恵を受ける状況になっています。生物の共通性と多様性、細胞を中心とした進化やエネルギー獲得系のしくみ、遺伝子のはたらき、環境応答、生態系などをデータや実験を通して科学的に理解・探求する力を身につけて、目覚ましく発展する生命科学に対応できるようにしてください。

2. 学習の到達目標

- 1 「生物基礎」との関連を図りながら、生物や生物現象を更に広範囲に取り扱い、生物学的に探究する能力と態度を身に付けさせる。
- 2 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めさせ、科学的な自然観を育てる。
- 3 観察・実験を通して自然を科学的に探究する能力を育てる。さらに、実験に対する目的、仮説、準備、方法、結果、考察、発展という手順に従ったレポートを作成する能力を育てる。
- 4 命の営みを学習することで生命に対する畏敬の念を育て、生命を尊重する精神を養う。

3. 学習基準（評価基準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：観察・実験の技能	d：知識・理解
観 点 の 趣 旨	生物や生物現象に関心や探究心を持ち、主体的に探求しようとするとともに、科学的態度を身につけている。	生物や生物現象の中に問題を見出だし、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身につけている。	生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身につけている。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探求活動の記録、発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探求活動の記録、発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートや実験レポートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

